



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 アライドテレシスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6835 URL <https://www.at-global.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 大嶋 章禎
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 増田 晴美 (TEL) 03-5437-6007
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	10,163	55.1	1,580	—	1,337	—	1,116	—
2020年12月期第1四半期	6,551	△7.1	△524	—	△583	—	△596	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 1,466百万円(—%) 2020年12月期第1四半期 △687百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	10.18	—
2020年12月期第1四半期	△5.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	27,660	5,785	20.7
2020年12月期	25,770	4,337	16.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 5,720百万円 2020年12月期 4,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

当期の業績予想につきましては、現時点において未定としています。

(詳細は、[添付資料] P. 3 「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期 1 Q	109,731,545株	2020年12月期	109,671,545株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	371株	2020年12月期	371株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期 1 Q	109,691,174株	2020年12月期 1 Q	109,671,231株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当期の業績予想につきましては、現時点において未定としています。

(詳細は、[添付資料] P. 3 「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年12月期第1四半期連結累計期間における当社グループは、技術と市場の最新動向をもとに製品・サービスの開発を推進し、オンラインセミナーの拡充やターゲット市場に向けた情報配信を充実させるなどコロナ禍ならではの効果的な普及・プロモーション活動を強化してまいりました。また、エンドユーザーへのダイレクトタッチによる提案型の営業活動を推進する一方、パートナーの新規開拓を実施してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、日本で引き続き文教市場の売上が大幅に増加したことに加え、海外でロックダウンの影響による前期の大幅な落ち込みから持ち直しの兆しが見え始めたことから、連結売上高は101億63百万円（前年同期比55.1%増）となりました。

損益面につきましては、人員増強により人件費などが膨らんだものの、増収効果により、営業利益は15億80百万円（前年同期は5億24百万円の損失）となりました。また、支払手数料及び為替差損などの計上により、経常利益は13億37百万円（前年同期は5億83百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億16百万円（前年同期は5億96百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの所在地別セグメント売上高の概要は次のとおりです。

〔日本〕

日本では、オンラインを駆使した新たな営業・プロモーション活動を推進しつつ、人員増強による営業・サービス体制を強化してまいりました。そのような中、文部科学省の「GIGAスクール構想」の予算執行により教育機関向けの売上が大きく伸長したほか、その他の公共や法人顧客で年度末に向けてこれまで抑制してきた設備投資を実施する動きが見られ、受注が好調となりました。この結果、売上高は77億82百万円（前年同期比70.4%増）となりました。

〔米州〕

米州では、販売代理店向けの出荷は依然として厳しい状況が続いておりますが、徐々に回復の兆しが表れております。さらに、在日米軍基地での定額制インターネットサービスの売上は好調に推移しました。この結果、米州での売上高は9億72百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

〔EMEA（ヨーロッパ、中東及びアフリカ）〕

EMEAでは、ロックダウンにより事業活動には引き続き制限があるものの、オンラインでの営業・プロモーション活動を強化したほか、パートナー企業のトレーニングの拡充などに努めました。そのような中、前期の急激な落ち込みから徐々に持ち直し、防衛関連施設への大型出荷を始めとして公共案件の受注が堅調となりました。この結果、売上高は8億66百万円（前年同期比24.4%増）となりました。

〔アジア・オセアニア〕

アジア・オセアニアでは、営業・サービス体制の強化や新規パートナー開拓を推進しております。そのような中、コロナ禍で凍結していたIT設備投資需要の回復の兆しが見られるようになりました。この結果、売上高は5億42百万円（前年同期比53.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は276億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億90百万円増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が13億80百万円、現金及び預金が4億95百万円増加したことによるものです。

(負債)

負債合計は218億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億41百万円増加となりました。これは主に、短期借入金が8億23百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が9億29百万円、前受収益が4億52百万円増加したことによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、57億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億48百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が11億16百万円増加したことによるものです。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.2ポイント上昇となる20.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、現在21か国に連結子会社を保有し事業を展開しています。そのため、新型コロナウイルス感染症拡大による経済的影響、為替変動、世界的な半導体の需給ひっ迫、米国の政権交代後の政策、米中間の通商摩擦などにより、当社グループを取り巻く事業環境が短期的に大きく変動するリスクがあります。特に海外子会社では中央・地方政府の大型公共事業を手掛けることが多く、政治・経済動向が当社の事業活動に与える影響は大きくなります。このような理由から、当期の業績予想につきましては、現時点(2021年5月14日)で合理的な算定が困難であるため未定としています。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

また、利益配分に関する基本方針として、当社は安定的かつ継続的な株主への利益還元を経営課題として考えるとともに、社会のニーズや技術の進歩・動向などを見据えた研究開発を成長のための必要不可欠な投資と位置づけた上で、経営基盤の強化と財務体質の健全性の保持に努めております。その上で業績に応じた株主への利益還元を実施することを基本方針としています。しかしながら、繰越利益剰余金が欠損の状況にあり、財務基盤の安定を最優先とすることから、配当を見送る予定です。当社は、早期の業績の回復と復配に向けて全力で取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,060,310	4,555,568
受取手形及び売掛金	6,002,054	7,382,701
商品及び製品	3,784,308	3,205,148
仕掛品	324,013	465,988
原材料及び貯蔵品	840,072	1,061,653
その他	1,609,787	1,603,981
貸倒引当金	△90,374	△96,508
流動資産合計	16,530,171	18,178,534
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,675,125	2,730,578
その他(純額)	3,016,319	3,051,660
有形固定資産合計	5,691,444	5,782,238
無形固定資産		
その他	251,131	250,055
無形固定資産合計	251,131	250,055
投資その他の資産		
その他	3,306,975	3,458,705
貸倒引当金	△9,196	△8,996
投資その他の資産合計	3,297,778	3,449,708
固定資産合計	9,240,354	9,482,002
資産合計	25,770,526	27,660,537
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,126,106	3,055,353
短期借入金	2,427,945	1,604,891
1年内返済予定の長期借入金	1,511,671	1,439,761
未払法人税等	235,946	328,825
賞与引当金	216,014	169,211
前受収益	4,966,194	5,418,900
その他	3,252,596	3,362,163
流動負債合計	14,736,474	15,379,106
固定負債		
長期借入金	2,817,395	2,595,269
退職給付に係る負債	622,278	629,625
リース債務	2,712,204	2,715,313
その他	544,768	555,528
固定負債合計	6,696,647	6,495,738
負債合計	21,433,122	21,874,844

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,014,121	10,019,161
資本剰余金	194,407	199,447
利益剰余金	△5,816,281	△4,699,284
自己株式	△31	△31
株主資本合計	4,392,216	5,519,292
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△136,265	209,372
退職給付に係る調整累計額	△11,475	△7,911
その他の包括利益累計額合計	△147,740	201,460
新株予約権	92,928	64,938
純資産合計	4,337,404	5,785,692
負債純資産合計	25,770,526	27,660,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	6,551,074	10,163,388
売上原価	2,683,326	3,895,099
売上総利益	3,867,748	6,268,288
販売費及び一般管理費	4,392,432	4,687,986
営業利益又は営業損失(△)	△524,684	1,580,301
営業外収益		
受取利息	159	133
助成金収入	653	5,805
保険返戻金	6,399	6,399
その他	1,877	924
営業外収益合計	9,089	13,262
営業外費用		
支払利息	49,356	64,382
為替差損	13,263	84,709
支払手数料	—	102,000
その他	5,542	4,713
営業外費用合計	68,162	255,806
経常利益又は経常損失(△)	△583,757	1,337,758
特別利益		
新株予約権戻入益	—	26,190
特別利益合計	—	26,190
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△583,757	1,363,948
法人税、住民税及び事業税	70,637	229,057
法人税等調整額	△58,287	17,894
法人税等合計	12,350	246,951
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△596,107	1,116,996
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△596,107	1,116,996

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△596,107	1,116,996
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△93,903	345,637
退職給付に係る調整額	2,102	3,563
その他の包括利益合計	△91,801	349,201
四半期包括利益	△687,909	1,466,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△687,909	1,466,197
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

配当金支払額

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

配当金支払額

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,566,517	934,833	697,044	352,679	6,551,074	—	6,551,074
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	147,194	4,608	18,153	1,219,679	1,389,636	△1,389,636	—
計	4,713,711	939,441	715,197	1,572,359	7,940,710	△1,389,636	6,551,074
セグメント損失(△)	△274,878	△59,093	△157,265	△67,134	△558,371	33,687	△524,684

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント損失の調整額には、セグメント間取引消去45,744千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等△12,056千円が含まれております。

3. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	7,782,047	972,180	866,929	542,231	10,163,388	—	10,163,388
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	42,314	18,173	8,915	1,522,397	1,591,800	△1,591,800	—
計	7,824,361	990,353	875,844	2,064,628	11,755,188	△1,591,800	10,163,388
セグメント利益	1,327,060	138,028	21,033	28,188	1,514,311	65,989	1,580,301

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去46,053千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等19,936千円が含まれております。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。